

株式会社ボタニカルファクトリー

鹿児島県肝属郡南大隅町

口に入れても大丈夫なスキンケア商品をつくりたい
信念の起業が農産資源を高付加価値商品に変えた

同社は“僻地に産業を興す”という信念のもと、本島最南端・鹿児島県南大隅町の小学校及び中学校跡地を化粧品工場にリノベーションし、農業従事者と共
に作る「地産化粧品」を目指し設立された。「自然由来成分100%、ケミカルフ
リー」のこだわりの化粧品作りを通じて、農業廃棄物や耕作放棄地等「地域課
題」の解決に向けた商品作り等も積極的に行い、農業従事者に向けた新たな切
り口を提案。自社ブランド「ボタニカノン」の販売の他、全国各地の地域素材を
活かした自然派化粧品の受託製造を行っている。

所在地	鹿児島県肝属郡南大隅町根占辺田3310 登尾小学校跡	設立	2016年
電話/FAX	0994-24-3008 / 0994-24-3088	資本金	990万円
URL	https://botanical.co.jp/	従業員数	12人
代表者	代表執行役員 黒木 靖之		



地産原料と独自技術による“食品のような化粧品”づくりでSDGsを实践

温帯と亜熱帯が混在する気候分布に属し、約4,000種類の植物が群生する鹿児島県大隅半島で、ハーブの契約栽培や農業廃棄物の再利用により、6種類の植物由来原材料を独自に採取している。これらを主な成分として「使用期限の設定」、「植物エキス使用の防腐」、「天然物での乳化」という3つの技術により、“食品のような化粧品”を製造している。また、自然環境に配慮して、約99%が5日後に自然に分解される「環境対応型食器洗い液体石鹸」の開発やワークショップを通じて、SDGs「海の豊かさを守ろう」に寄与している。



天然由来成分100%の自然派化粧品

農産廃棄物の再利用により、近隣農家の増収・耕作放棄地対策に寄与

自社ブランド「BOTANICANONボタニカノン」は、全32商品を展開しているが、そのすべてに鹿児島県産素材原料を配合している。食用農産物が「化粧品原料」として用途が広がることにより、「フードロス削減」につながり、新しい切り口の商品開発によって農業従事者のモチベーション向上および耕作放棄地対策に寄与している。また、廃棄処分されていた規格外作物を積極的に買取り「アップサイクル商品」として化粧品にすることで近隣農家と助け合いながら、地域社会や自然環境に対して持続的に貢献できる取り組みを行っている。



農業廃棄物買取りプロジェクト

ナチュラルコスメの優位性で、コロナ禍でも中国・台湾等の海外販路を伸長

同社代表者は起業後、国内各地で自然派化粧品の普及啓蒙活動を行ってきたが、2018年から中国広州での化粧品展示会に出展、中国、台湾での取引を始めた。2019年は中国4か所で「次世代を担うエステサロンリーダー育成」講師として、代理店の育成に注力した。その成果が現れ、年度末にコロナ禍の影響を受けたものの、年間売上の30%以上を海外で稼ぐまでに成長した。今後は、中国に申請した自社商品7種類と委託商品11種類の化粧品が認可を受けており、2021年度以降に本格的に中国向けの受託製造を始める計画である。



地元高校生とのコラボ商品